

論究 日本の危機管理体制

国民保護と防災をめぐる葛藤

戦略研究学会
出版プロジェクト

武田康裕 (防衛大学校教授) 編著 A5判320頁 本体 2,800円

ISBN978-4-8295-0787-2

4月新刊

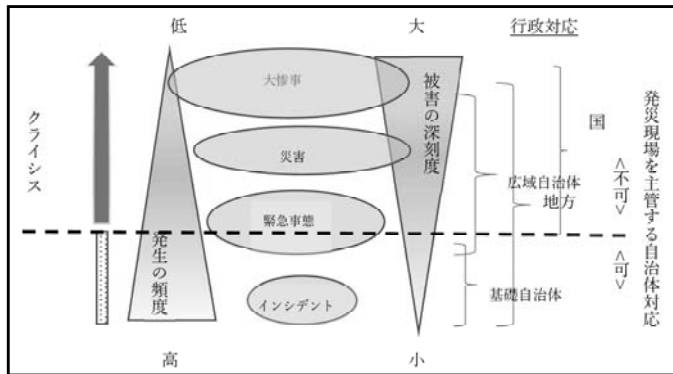
新型コロナウイルス感染で日本の危機管理の課題が露呈している！

テロ、サイバー攻撃、武力攻撃、自然災害、重大事故、感染リスク……

—その時、どうすべきか、何ができ、何ができないのか

“安心・安全”と“自由”は二律背反の関係
重要な諸価値の間の果てしない葛藤こそ危機管理の本質

研究者、行政経験者、リスクコンサルタントなど
13人の専門家による
現実的な選択肢を模索するための分析的論究



リスク評価と危機の分類

私権の制限を伴う非常事態宣言を出してでも、「安全」を最優先する欧米諸国と比べ、「緊急事態宣言を忌避してきた日本は」「自由」の価値を優先しているのか？



All-hazardsアプローチに基づく
緊急事態管理のイメージ

序論	安全神話は崩壊したのか	(武田康裕／防衛大学校)
第1章	日本の危機管理制度—国民保護と防災の論理	(平嶋彰英／立教大学)
第2章	米国の国内危機管理におけるAll-Hazardsアプローチ—安全保障プログラムと災害対策をめぐる葛藤	(伊藤 潤／中京大学)
第3章	ドイツの非常事態法制とその政策的含意—連邦軍の国内出動を中心に	(中村登志哉／名古屋大学)
第4章	地方公共団体の危機管理体制—連携をめぐる葛藤	(加藤 健／防衛大学校)
第5章	国民保護行政のなかの分権性と融合性	(川島佑介／茨城大学)
第6章	避難のトラップ—なぜ国民保護では行政誘導避難なのか	(宮坂直史／防衛大学校)
第7章	武力攻撃事態における国民保護に関する制度運用の全体像と課題	(中林啓修／人と防災未来センター)
第8章	人為的危機対応の通時的変化—自然災害発生時の災害情報をめぐる葛藤を中心に	(林 昌宏／常葉大学)
第9章	離島問題に見る基礎自治体の国民保護計画への対応	(古川浩司／中京大学)
第10章	弾道ミサイル攻撃と民間事業者の対応	(芦沢 崇／東京海上日動リスクコンサルティング)
第11章	重要インフラに対する破壊的サイバー攻撃とその対処—「サービス障害」アプローチと「武力攻撃」アプローチ	(川口貴久／東京海上日動リスクコンサルティング)
第12章	オリンピックテロ・シミュレーションから考える国民保護の陥穽	(本多倫彬／キャノングローバル戦略研究所)

4月中旬 新刊搬入予定です

配本部数申込締切は 3月31日(火) です

FAX 03-3813-4615

芙蓉書房出版

〒113-0033
東京都文京区本郷3-3-13
http://www.fuyoshobo.co.jp
TEL. 03-3813-4466
FAX. 03-3813-4615

発行 芙蓉書房出版	注文数	注文者
論究 日本の危機管理体制		
4月新刊	本体 2,800円	部